

この度は、「薬剤師国家試験対策参考書[改訂第15版]⑨実務」をご購入いただき、誠に有難うございます。
 本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。
 ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナル編集 青本[改訂第15版]⑨実務 補足及び訂正一覧表



【青本】

	訂正前	訂正後
P132 下から1行目	・ <u>薬剤点数、調剤手数料、請求点数、患者負担金額</u>	・ <u>薬剤・当該調剤等の請求項目、請求点数、患者負担金額</u>
P297 ●腎障害の対策 下から4行目	……尿が産生側に傾くと……	……尿が <u>酸性</u> 側に傾くと……
P348 メモ欄 下から3行目	…… <u>ロモリズマブ(イベニティ®)</u> ……	…… <u>ロモソズマブ(イベニティ®)</u> ……

下記は、2025年7月30日「細菌スクリーニングを導入した新規血小板製剤」供給開始に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P460 ●血液製剤の適応症と保管管理 メモ欄	人血小板濃厚液 (有効期間)採血後4日間	人血小板濃厚液 (有効期間)採血後 <u>6</u> 日間 ▶ <u>人血小板濃厚液は、2025年7月30日より、原料となる献血血液に対し細菌スクリーニング(BS)を行った製剤の供給が開始された。BSに必要な時間を確保するため、有効期間が採血後4日間から採血後6日間に延長された。</u>

【青問】

	訂正前	訂正後
P154 問7 問題		
P157 問9 解説2	……また、バイオ後続品は <u>原則的に先行バイオ医薬品と投与経路が同一である必要があり、先行バイオ医薬品の推奨用量で検討すべきであるが、複数の投与経路及び妥当な用量を選択することが可能である。</u>	……また、バイオ後続品の <u>投与経路は先行バイオ医薬品と同一である必要がある。</u>
P165 問18 解説	……調剤年月日、調剤量、調剤した薬剤師の氏名、処方箋の発行年月日…… <u>医師などの同意に基づく変更事項、医師……その薬局で調剤した薬剤についての薬剤料・調剤手数料・請求点数……</u>	……調剤並びに情報の提供及び指導を行った年月日、調剤量、調剤並びに情報の提供及び指導を行った薬剤師の氏名、情報の提供及び指導の内容の要点、処方箋の発行年月日…… <u>医師などの同意に基づく変更内容、医師……その薬局で調剤した薬剤及び当該調剤等についての請求項目・請求点数……</u>

P555 問 39 解説	……注意が必要である。	……注意が必要である。 <u>なお、出題時には、ニュープロパッチにはアルミニウムを含む支持体が使われていたが、現在は、アルミニウムは除かれているため、本注意事項は削除されている。</u>
--------------	-------------	---

下記は、2025 年 7 月 30 日「細菌スクリーニングを導入した新規血小板製剤」供給開始に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P681 問 27 解説 4	……採血後 4 日間以内……	……採血後 <u>6</u> 日間以内……
P681 問 28 解説 2	……水平振とう保存で 4 日間である。	……水平振とう保存で <u>6</u> 日間である。

下記は、2025 年 8 月 29 日「高血圧管理・治療ガイドライン 2025」発行に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P576 問 59 選択肢 4	降圧目標は、年齢や合併症の有無に応じて決められる。	降圧目標は、年齢や合併症の有無にかかわらず、 <u>診察室血圧、家庭血圧の目標が設定されている。</u>
P577 問 59 解説 4	降圧目標は、年齢や合併症の有無などを考慮して決められる。	降圧目標は、年齢や合併症の有無にかかわらず、 <u>診察室血圧、家庭血圧の目標が設定されている。</u>
P577 問 59 解説 5	高血圧治療ガイドラインにおいて、……	<u>高血圧管理・治療ガイドライン</u> において、……

※本書記載の参照頁“→「第○章 ○.○.○ ……」p.○参照”は、該当の内容が記載されている○.○.○が始まる頁を示しております。